



一画而清録を以て述を以

度里留活細子半接院

議を考て述せしむ直に

初母任せし由當て由申

段に其通の日子に其字

由者に通事の人物より

之體は其為議知ると其

せしむと機しむる由なり

概にあたり其の事申せ

午申す其其の目下字

由者に其の録を其に

其の概を其の信せしむ

世と機  
字の者

松のあまの地松のの字

午申の地を以て首下字

申者、申の字を以て

申、松の地を以て

松の字の者、申の地

高の地を以て申の地

高の地を以て申の地

申の地を以て申の地

申の地を以て申の地

申の地を以て申の地

申の地を以て申の地

申の地を以て申の地

申の地を以て申の地

直

大隈 大見 研北



見  
表

東京牛込早稲田  
大隈重信殿



絨

佐

賀

縣

鹿

島

島

直

林